

## 住民アセス支援ツールの開発と普及

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

サイト仮立上、  
学会発表など

100%

事例創出

2件

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

25%



松本市内小学校関係者を交えての評価研究会

### 課題

持続可能な社会の仕組みとして環境アセスメントは重要だが、日本のNGOにおける関与は低調である。日本特有の運動形態である「住民アセス」の再定義と振興を図りたい。

### 目標

自主簡易アセスや住民アセスを含め、日本における環境アセスのすそ野が広がり、持続可能な社会における地域づくり・まちづくりにおいて当然行われるようになる。

### 活動内容と成果

- ①「住民アセス支援サイト」を開設(2018年2月)
- ②WEBソフト「簡易な環境影響診断」を同サイトに公開
- ③戦後の「住民アセス」に関する調査を実施し、環境アセスメント学会2018年研究発表会で3件を発表(約270人が聴講)。また、アセス都民連(活動停止)のアーカイブを作成し、これらをWEB公開
- ④2つの住民アセス事例を創出(住民団体との協働)  
※北アルプス国際芸術祭の環境社会配慮に対する住民アセス(長野県大町市)  
※円融寺プロジェクションマッピング奉納の自主簡易アセス(東京都目黒区)



市民活動関係者との評価研究会(東京)



今後の  
展望

- ①「住民アセス支援サイト」の拡充(外部評価者によるワークショップの開催など)
- ②戦後の住民アセスに関する資料のさらなる掘り起こしと記録化
- ③環境アセスの考え方を土台にしたESDプログラムの開発

## 苦勞した点と工夫した点

### ■ 苦勞した点

- ①住民運動資料の掘り起こし、目録づくりと電子化
- ②前例のない環境社会配慮をテーマとした住民アセスの手法開発と参加組織

### ■ 工夫した点

学会や地域、分野でのつながりをいかにして、事例を開拓し、協働で調査を実施したこと。

活動地域 |  長野県

〒398-0002  
長野県大町市仁科町3302  
電話：0261-22-7601 (Fax兼用)  
E-mail：npo@omachi.org  
<http://npo.omachi.org/>

